

令和 7 年度 香南市立香我美中学校 部活動運営方針

教育目標学校

人間力の育成

運動部活動の活動方針

本校においては部活動を、平成 29 年 7 月告示中学校学習指導要領「生徒の自主的、自発的な参加により、行われる部活動については、スポーツや文化、科学等に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等、学校教育が目指す資質・能力の育成に資するものであり、学校教育の一環として、教育課程との関連が図られるよう留意す本校における部活動は、学校教育目標及び学力発揮教育の実現化を目的として行われ、部活動も同様である。

① 運営に関すること

1 部活動運営方針の策定等に関すること

- ア 校長は、香南市運動部活動ガイドラインを参考に毎年度「香南市立香我美中学校部活動方針」を策定する。本活動方針には文化部も含める。
- イ 校長は、年間の活動計画（活動日、休養日及び参加予定大会日程等）並びに毎月の活動計画及び活動実績（活動日時・場所、休養日及び大会参加日等）を担当職員に作成させ、提出させるものとする。
- ウ 校長は、大会等に参加する場合は、事前に参加許可願いを担当職員に作成させ、提出させるものとする。
- エ 校長は、アの内容を毎年、全校生徒に説明するとともに、保護者には PTA 総会で説明する。さらに部活動加入生徒には 4 月に開催する「部活動発会式」において、同保護者には 5 月頃に開催する「部活動保護者会」において説明するものとする。

2 部活動の指導・運営に係る体制の構築について

- ア 校長は令和 7 年度、本校に以下の部活動を置く。
- 【体育部】 剣道部、サッカー部、陸上部、女子バレーボール部、ソフトボール部、駅伝部
※水泳については、中体連主催の大会引率のみとする。
- 【文化部】 吹奏楽部、華道・美術部
- イ 校長はアの各部活動に対して顧問又は副顧問を配置する。顧問・副顧問は、原則として部活動指導につくこととする。
- ウ 本校生徒は、顧問・副顧問に入部届を提出することで部員となることができる。
- エ 校長は、毎月の活動計画及び活動実績の確認等により、各部活動の活動内容を把握し、生徒が安全にスポーツ・文化・芸術活動を行い、職員の負担が過度とならないよう、必要に応じて指導・是正を行うものとする。
- オ 校長は、各部活動の保護者に対して保護者会の結成及び加入の依頼を行う。
- カ 校長は、『香南市児童・生徒対外競技等補助金』等の学校配当予算を各部活動に配分して活動させることとする。ただし、活動費が補助対象にならない場合や不足する場合には、保護者会において協議し、理解を得たうえで保護者会費を徴収することができるものとする。保護者会費の額の決定や徴収及び予算・決算・監査等の

キ 校長は、必要に応じて顧問・副顧問会、キャプテン会、部活動集会を開催し、生徒の自治活動を援助することに努めるものとする。

② 活動に関する事

1 本校における合理的でかつ効率的・効果的な活動の推進のための取組について

(1) 適切な指導の実施

- ア 校長及び顧問・副顧問は、部員の心身の健康管理、事故防止及び体罰・ハラスメントの根絶を徹底する。
- イ 校長及び顧問・副顧問は、部員とコミュニケーションを十分に図り、生徒がバーンアウトすることなく、技能や記録の向上等それぞれの目標を達成できるよう、競技種目等を踏まえた科学的トレーニングの積極的な導入等により、休養を適切にとりつつ、短時間で効果が得られる指導を行う。また、発達の個人差や女子の成長期における体と心の状態等に関する正しい知識を得た上で指導を行うため、専門的知見を有す

(2) 適切な休養指導の確保

- ア 学期中は、週当たり2日以上以上の休養日を設けることを基準とする。（平日は少なくとも1日、土曜日及び日曜日（以下「週末」という）は少なくとも1日以上を休養日とすることを基準とする。週末に大会参加等で活動した場合は、休養日を他の日に振り替えることを基準とする）なお、目標の大会に向けて運動量を増やす時期が必要になってきたりする場合でも、平日1日の休養日は必ず設けるとともに、週末も含め年間10長期休業中の休養日を設けることと学期末に準じた扱いにすることを基準とする。また、部員が十分な休養を取ることができるとともに、部活動以外にも多様な活動を行うことができるよう、ある程度長期の休養期間（オフシーズン）を設けることを基準とする。
- ウ 1日の活動時間は、朝練習を含めて長くとも平日では2時間程度、学校の休養日（学期中の週末を含む）は3時間程度を基準とし、できるだけ短時間に合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。
- エ 週あたりの運動の上限を、スポーツ医・科学の観点から、ジュニア期におけるスポーツ活動時間に関する研究も踏まえ、16時間未満で計画・実施することが望ましい。
- オ 定期考査発表中における部活動停止期間を設ける。定期考査終了日より概ね10日以内に公式戦・コンクール等のある部活動は、校長の承認を受けた後、職員会で周知し、保護者会の了承を得た上で、1時間程度の練習を認めることがある。

(3) 施設や用具の管理

- ア 顧問・副顧問は、使用した設備の整頓・清掃、校舎の施錠等、責任をもって行う。

(4) 事故防止や安全対策

- ア 校長及び顧問・副顧問は、熱中症の予防に最大限の努力を行う。
- イ 顧問・副顧問は事故には十分留意し、怪我が起きた場合、速やかに処置し、管理職及び養護教諭に連絡・

報告する。

2 本校における部活動環境の整備

(1) 部活動の設置

- ア 校長は、部活動設置について、常に意見聴取を行うことを心掛けることとする。少子化に伴う教員減少により、顧問副顧問の配置が厳しくなる現状はあるものの、中体連主催大会への参加環境整備等、最大限の

(2) 努力を行う地域との連携

- ア 校長は、小中連携の観点から、小学校スポーツ少年団等との合同練習や小学校放課後児童クラブへの訪問指導を行うなど、地域との連携を深めることを推奨する。

3 学校単位で参加する大会等の見直し

- ア 校長は、生徒の教育上の意義や、生徒や顧問・副顧問の負担が過度とならないことを考慮して、参加する大会等を精査する。

4 その他

(1) 台風等の接近や集中豪雨、地震等への対応

ア 授業日については、学校及び市教委が行う判断通りとする。

イ 授業日以外の練習については、午前中の活動は午前 6 時、午後の活動は午前 12 時の段階で「大雨」「暴風」のいずれかの警報が香南市に発令されていた場合は、活動を中止することとする。上記の他甚大な被害や危険が予想される場合も同様とする。なお、対外試合等の場合は、顧問・副顧問から連絡を行うこととする。

③ 活動時間に関すること

1 適切な休養日等の設定に関すること

(1) 放課後の練習時間の設定について

平常日は、16 時 15 分以降に練習を開始し、18 時 15 分までに練習を終了する。18 時 30 分までに下校を完了する。放課時間が早い場合も、上記に準じて、練習準備 10 分、練習 2 時間以内、練習後 15 分で完全下校とする。

(2) 朝練習について

朝練習を行う場合には、放課後の練習を含めて 2 時間以内とする。顧問・副顧問は、朝学活に間に合わないという事態が生じないように時間管理を徹底する。

(3) 土曜日・日曜日と連続で対外試合等があった場合

次の週に予定されている平日の休養日に加えて、新たにもう一日平日の休養日を設けることを原則とする。次の週の土日を連続で休養日とすることも可能である。

2 教員の特殊業務手当に関すること

大会等の引率の場合はこの限りでない。

3 教員の働き方改革に関すること

(1) 夏季休業中の学校閉庁日との関連に関すること

令和 7 年度に予定されている学校閉庁日の 8 月 10 日(土)～18 日(日)には部活動を行わないことを原則とする。ただし、公式戦やコンクール等が近日中に控えている場合や中体連専門部や競技団体主催の合宿等がある場合には校長の許可を得て、実施することができるものとする。

評価と改善

令和 6 年度

| | | | |
|------|----------|-----|------|
| 活動時間 | 遵守できている | 6 部 | |
| | 遵守できていない | 1 部 | (陸上) |
| 休養日 | 遵守できている | 7 部 | |